

TV(1-3ch)・FM/AM ラジオ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICF-T30

Sony Corporation ©1998 Printed in Japan

ラジオ
ICF-T30

保証書
T10-1001A-1が入ります。

主な特長

- ・節電のため自動的に電源が切れるパワーオートオフ機能。
- ・放送局を受信すると同調インジケーターが点灯。
- ・高感度、高選択度設計。

使用上のご注意

取り扱いについて

- ・落としたり、強いショックを与えたいために故障の原因になります。
- ・次のような場所には置かないでください。
温度が非常に高い所(40以上)や低い所(0以下)
直射日光のある場所や暖房器具の近く。
風呂場など湿気の多い所。
窓を閉めきった自動車内(特に夏季)、ほこりの多い所。
- ・ラジオの内部に液体や異物を入れないでください。
- ・汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- ・キャッシングカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- ・耳をあまり刺激しないように、適度な音量でお楽しみください。
- ・常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし清潔に保ってください。
- ・このラジオのテレビ音声回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域では、テレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。このときは、テクニカルインフォメーションセンターまたはお客様ご相談センターにご相談ください。
- ・交通安全のため、自転車やバイク、自動車などを運転中はご使用にならないでください。
- ・イヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはテクニカルインフォメーションセンター、お客様ご相談センターに相談してください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

受信周波数	FM: 76~108MHz (TV1~3チャンネル) AM: 530~1,605kHz
スピーカー	直径約3.6cm丸型、7.2 1個
出力端子	◎(イヤホン)端子(超ミニジャック ø2.5 mm)1個
実用最大出力	70 mW(JEITA*)
電源	DC 3V、単4形乾電池2本
パワーオートオフ機能	約80~150分
最大外形寸法	約58×95×19.5 mm(幅/高さ/厚さ) (JEITA)
質量	約90 g(乾電池、イヤーレシーバー含む)

* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

付属品

- ソニー単4形乾電池(お試し用)(2)
- イヤーレシーバー(1)
- イヤーパッド(1)
- 取扱説明書・保証書(1)

* 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります
が、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間に修理可能な時期とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によつては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問合せください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話: 048-794-5194

受付時間: 月~金 午前9時から午後6時まで(祝日、年末年始、弊社休日を除く)
ご相談になるときは次のことをお知らせください。

・型名

・ご相談内容: できるだけ詳しく

・お買い上げ年月日

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

受付時間:

月~金

9:00~20:00

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311

土・日・祝日

● Fax ……………… 0466-31-2595

9:00~17:00

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

乾電池を入れる



1 電池入れのふたを開ける。

2 乾電池を入れる。
電池の下にリボンをひいておくと取り出すときに便利です。

3 ふたを閉める。

乾電池の持続時間

—ソニー単4形(R03)マンガン乾電池使用時 (JEITA*)

放送の種類	持続時間	
	イヤーレシーバー使用時	スピーカー使用時
FM(TV1-3ch)放送	約63時間	約23時間
AM放送	約82時間	約25時間

* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。

乾電池の交換時期

乾電池が消耗していくと音が小さくなったり、ひずんだりします。その場合は、乾電池を2本とも新しいものと交換してください。

ラジオの電源が突然切ってしまったときは

このラジオは、消し忘れによる電池のむだな消耗を防ぐため、自動的に電源が切れるようになっています(パワーオートオフ機能)。

電源が切れるまでの時間は電池残量により異なり、約80~150分後です。

電源が切れたあと、さらにお聞きになりたいときは、もう一度電源/オートオフボタンを押して電源を入れてください。

電源/オートオフボタンを押しても電源が入らない場合や、パワーオートオフ機能が働いていないのに電源が切れる場合は、電池が消耗していますので新しい電池と交換してください。

ラジオを聞くには

FM(TV1~3ch)の場合

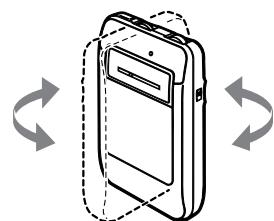
イヤーレシーバーのコードがアンテナとして働きます。
コードができるだけ長くのばしてお使いください。
FM(TV1-3ch)放送をスピーカーから聞く場合も、イヤーレシーバーのコードがアンテナとして働くので、必ずイヤーレシーバーをつないでください。



・乗り物やビルの中では電波が弱められますので、なるべく窓際でお聞きください。

AM放送の場合

AMアンテナは内蔵されているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。最も良く受信できる向きにしてお聞きください。



ラジオを聞く

スピーカーまたは付属のイヤーレシーバーで聞くことができます。



1 イヤーレシーバーで聞く場合、②(イヤホン)端子にイヤーレシーバーをつなぐ。
スピーカーでFM(TV1-3ch)放送を聞く場合も、イヤーレシーバーのコードがアンテナとして働くので、必ずイヤーレシーバーをつないでください。

2 電源/オートオフボタンを押して電源を入れる。

3 ②/③(イヤホン/スピーカー)スイッチで②または③を選ぶ。
②に合わせるとイヤーレシーバーから、③に合わせるとスピーカーから音が聞こえます。

4 BANDスイッチでFM(TV1~3)、またはAM放送を選ぶ。
TV(1-3ch)放送を聞く場合はFMに合わせます。

5 TUNE・選局つまみを回して聞きたい放送局を選ぶ。
放送を受信すると同調インジケーターが点灯します。

6 VOL・音量つまみを調節する。

電源を切るときは

電源/オートオフボタンをもう一度押します。

イヤーレシーバーが耳にぴったり合わないときは

付属のイヤーパッドを使います。

